



NPO 法人 緑・ふれあいの家 (緑地域活動協議会) 理事長 久木 勝三 広報委員会 大阪市鶴見区緑 3-3-3 電話 (06) 6915-6333

Jr. 防災リーダー養成講座を開講



10月26日の夕刻、みどり小学校の5・6年生38人が照明の消えた講堂前に集まってきました。この光景、実は今年のJr防災リーダー養成講座で、「集合2時間前の子どもたちだけで過ごしている時に大地震が起き、停電で懐中電灯の光を頼りに避難所である小学校へ辿り着いた」という設定で始まったものです。真っ暗な避難所では、同じように避難してきた地域のお母さん方が、お腹を空かせた子どもたちに、水不足になる被災時に効率的な調理法「バッククッキング」を実践しながら指導し、その後、子どもたちは懐中電灯の灯りの中で停電時の夕食を体験しました。食事時間後半には復旧通電したとの設定で照明をつけ、ライフラインの大切さを感じてもらえたと思います。講座は、自然災害の危険性と身の守り方から始まり、身の回りにある物を使っての応急処置、簡易担架、バケツリレーと進み、今回のメインとなる防災ゲーム「ダイレクトロード」へと続きます。このゲームは、神戸市消防局が開発した防災協力コミュニケーションゲームで、チーム全員が参加しないとクリアできない仕組みとなっています。自分の意見はハッキリと伝え、相手や周りの話は正確に聞く。そして積極的に協力しあうことの大切さを実感できる内容で、私を含むゲーム経験者が絶賛し、ぜひこの講座でもと考え、今回取り入れました。その後、講堂での1泊体験となり、なかなか寝付けない子もいる中、就寝となりました。夜が明けて、炊き出しによる朝食、自分専用の防災マニュアル作りに取り組みました。閉会式では河村鶴見区長より、「Jr防災リーダー養成講座修了証」が一人ひとりに渡され、幕を閉じました。今回の講座は、参加した子どもたちが、防災関係のみならず、日常生活において、積極的に協力しあう気持ちを身につけてくれることを願い、企画実施しました。ご意見ご感想があれば、緑・ふれあいの家までお願いします。

実行委員 宗廣哲明

減災訓練は各町会の実情を基に



10月27日午前10時、「震度7の直下型地震が発生」という想定で防災訓練を実施しました。訓練は、まず各町会の一時避難場所に集合。そして、各町会ごとに参加された皆さんが想定される事態に対処するというものです。いわば「シナリオなしの訓練」で、町会それぞれが独自に工夫して避難所で訓練を実施。その後、みどり小学校の体育館(二次避難所)に集合し、各町会での取組を報告し、参加者の皆さんが相互に学習していただきました。一北町会では18名の方が参加、①町会の皆さんに配布されていた「緑地震そなえ隊の地震行動マニュアル」を簡単に説明、②町会内の危険箇所の確認を行い、③安否の確認方法を話し合いました。安否確認については、町会のみなさんは知り合いの方への電話連絡、一戸建てのお家は近所の方の様子を見るなど、それなりの工夫や心づもりをいただいていたいました。ただ、マンションにお住まいの方の安否確認や避難・救助はどのようにしたらよいか頭を悩ましていました。また、大阪北部の地震の際に、携帯電話がつながりにくかったという意見があり、「伝言板」「SNS」の使用をお勧めしました。このように参加されたみなさんが意見を交わしどのようにしたらよいか話し合う訓練というのは、よい機会・よい学習になったと思います。さて、来年の訓練はどのようになるでしょう？今回参加された皆さんやできなかった皆さん。ご期待願います。

一北町会長 宮城和昭

スリーアイズっておもしろいじゃん！



11月23日、鶴見スポーツセンターにてニュースポーツ大会スリーアイズ競技大会が開催されました。スリーアイズは生野区で考案されたニュースポーツで、10個のボールとわずかなスペースがあれば、幼児から高齢者までどなたでも参加できるバリアフリーのスポーツです。今大会は多様な16チームが参加し、3〜5名1チームでのチーム戦で3セット1ゲームで競います。競技は1

から9のマス目に各5個のボールを順番に投げ、ボールがマス目に1列ならば得点となります。ボールの並び方が難しくなればなるほど点も高くなっていきます。と、一見簡単そうに見えるゲームですが、ゴムボールの中にはおもりが入っており、なかなか上手く思ったところへは止まってくれません。今回、緑からは、「緑校下」と「緑3丁目なかよし会」の2チームが参加しました。予選は16チームが4ブロックに分かれての総当たり戦。決勝はその順位ごとにトーナメントが組まれ、すべてのチームに順位が付きま。決勝トーナメント初戦では緑の2チームがまさかの対戦となり、「緑校下」が勝利し5位決定戦へ、「緑3丁目なかよし会」は7位決定戦へと進みました。まずは7位決定戦です。相手チームは「横堤 直(ちよく)」です。両者3セットともに0-0となり、この後は5球のボールを1人ずつ投げ、5のマスのマスに止まったボールの数で勝敗を決めるフリースロー。両者4人目まで止まらず最後の5人目、決めたのは相手チームで「なかよし会」は惜敗。次に5位決定戦です。相手は家族でチームをつくる「チーム・ヤマモリ」。1セット目0-1で「チーム・ヤマモリ」。2セット目0-0。3セット目は1-0で「緑校下」。なんとか1-1の引き分け。先ほどと同じくフリースローです。1-0で1球止めることが出来た「緑校下」が勝利しました。結果、「緑校下」5位、「緑3丁目なかよし会」が8位で競技は終了しました。来年の11月23日にはまた大会が行われますので、興味を持たれた方は参加されてみてはいかがでしょうか。 広報委員 竹本真理

頭の体操



- タテの各9列に1〜9の数字が入ります。
•ヨコの各9列に1〜9の数字が入ります。
•3×3の各9ブロックに1〜9の数字がはいります。

Table with 9 rows and 9 columns containing numbers for a logic puzzle.

グリーンモンスター子ども文化祭で銀賞



「グリーンモンスターのハッピーカーニバルへようこそ!!」6年生2人の楽しそうな掛け声で幕が上がります。11月4日に茨田南小学校で行われた第42回子ども文化祭に出場した、緑連合子ども会ダンスチームのグリーンモンスターは、『おねえさんといっしょ〜グリモンのハッピーカーニバル〜』とタイトル付けをした演技を披露しました。2人のおねえさんと元気な子どもたちの歌とダンスで進んでいきました。高学年と低学年を一緒に編成した各グループが、『なめこ』では可愛い、『歩いて帰ろう』ではかっこいいダンスを披露し、途中『アルゴリズム行進』で笑いを誘いました。全員揃ってのパフォーマンスでも元気いっぱい心躍る演技を見せてくれて、観客も手拍子をして盛り上げました。去年まではダンスの先生が指導していただきましたが、本年度は子ども会文化部役員の方の指導のもと、5月から子ども文化祭に向けての練習を始めました。今まで教えて頂いた事を基に、高学年が中心になりダンスを覚えて低学年に教え、ダンスの苦手な子や低学年も一緒になって同じダンスに取り組みました。お互いにチェックを合い、意見がぶつかった時にはその都度話し合いや相談をした結果、ステージに立つたにより良いものをつくり上げることができました。惜しくも銀賞受賞となりましたが、自分たちで成し遂げた経験はそれ以上のものとなり、一人ひとりの自信に満ち溢れた笑顔を見ることができました。 子ども会 榎井真紀

キック合同チームで出場

11月11日さわやかな秋晴れの下、鶴見緑地第一運動場で「大阪鶴見ライオンズクラブ競技大会」が開催され、緑連合子ども会からキックベースボールチームが出場しました。開会式では、昨年優勝した緑連合子ども会キックベースボールチームより優勝旗とカップの返還も行われました。今年の緑チームは大会出場人数が不足のため、茨田西連合子ども会キックベースボールチームとの合同チームを編成し、4月から合同練習を重ね、3回目の公式試合となりました。ホームラン、1イニング大量得点もあり、チーム全員で元気に声を掛け、フォローしあって公式戦での一勝を得ることができました。次回の公式戦では更に勝利を重ねることを目標に、これからも練習・練習試合を積み重ねて頑張りますので、応援をよろしくお願いいたします。緑連合子ども会ではソフトボール、キックベースボールの



両チーム共にチームメイトを募集しています。週末に小学校グラウンドなどで練習していますので、興味のある方は是非見学に来て下さい。

子ども会 榎井真紀

みどり掲示板

おめでとうございます



緑3丁目在住の、原口勝弘氏が長年保護司として若年者の更生・保護ならびに犯罪予防の啓発活動に従事されてこられたことに対し、全国保護司連盟より栄えある「全国保護司連盟会長表彰」を受けられました。原口氏は平成10年より保護司を受嘱、平成15年より保護司会から推挙され大阪府麻薬中毒者相談員に就任、また現在は鶴見区保護司会副会長も務めておられます。今後益々のご活躍を期待すると共に、緑地域の皆様にご報告させていただきます。



行事予定(1月~2月)

開催日	行事名	開催場所
毎週日曜日	日曜ふれあい喫茶	緑ふれあいの家
毎週水曜日	子ども見守り隊	通学路要所
毎週木曜日	緑ふれあいランチサービス	緑ふれあいの家
毎週火・木曜日	緑ふれあいトレーニングハウス	グリーンランドみずき他
毎月第3火曜日	囲碁・将棋友の会	緑ふれあいの家
毎月第3木曜日	子育てサロン	緑福祉会館
毎月第4木曜日	ステップ教室	緑ふれあいの家
偶数月第2土曜日	緑いどばたクラブ	緑ふれあいの家
奇数月第4日曜日	地域一斉美化活動	緑地域全域
適時	地域防犯パトロール	緑地域全域
1/13(日) 8:00~	ふれあい餅つき大会(一般の部)	緑・ふれあいの家
1/13(日) 13:00~	ふれあい餅つき大会(子ども会の部)	緑・ふれあいの家
1/14(祝) 10:00~	鶴見区成人の日 記念のつどい	鶴見区民センター
1/14(祝) 18:00~	緑・ふれあいの家新年互礼会	大北京(京橋)
1/20(日) 9:00~	第21回鶴見区新春リレージョギング大会	緑地コミュニティ広場
1/20(日) 13:00~	鶴見区新春たこあげ大会	緑地コミュニティ広場
2/2(土)~3(日)	鶴見区民ファミリースキー	神鍋高原
2/10(日) 9:00~	鶴見区バレーボール大会	鶴見スポーツセンター

新たな一年は

ふれあい4コマ「しあわせ家族」

【行く年来る年〜「一笑一若」の気持ちで】



すべてを深く胸の内に飲み込んだ、仏像のような慈愛の笑顔が和顔施(わげんせ)です。そして梅の花一輪のほのかな微笑み…

皆様が花のような笑顔で素晴らしい年を迎え、幸せな笑顔に満ちた1年をすごされますように。

「一笑一若、一怒一老」という言葉があります。ひと笑いすると若返って元気になる、怒るとその分老いるという中国の言葉だそうです。これはいたって至言で、筑波大学の村上和雄名誉教授(※)は、健康をうながす良い遺伝子のスイッチをオンにし、癌(がん)を生み出すような悪玉の遺伝子のスイッチをオフにすることが大切と説かれています。医学的にも喜びや生きがいは自然治癒力を高め、怒りや絶望は反対に弱めて、ひいては病気を招いてしまうということですが、実際によく笑う人は癌や病気になりにくいそうです。心が温かくなる笑顔〜和顔施(わげんせ)〜が、自分だけでなく周りの人も幸せにします。笑顔を忘れない毎日といつも怒っている毎日とでは、時を重ねるうちに、健康だけでなく暮らしぶりや人生そのものもずいぶん違ってきます。一は根本、そして始まりの意でもあります。笑いは幸福の始まり、怒りは禍(わざわい)の始まり、「一笑一福、一怒一禍」です。今年1年を感謝の笑顔で送り、「一笑一若、一笑一福」の気持ちで新しい年の始まりを迎えましょう。

※ DNA 解明の世界的権威。世界に先がけ高血圧の黒幕である酵素「レニン」の遺伝子解読に成功。

著書に「遺伝子は語る」「生命の暗号」「幸福の暗号」他多数。

文責：念法真教金剛寺 内野芳徳

救急カプセル



鶴見区社会福祉協議会
鶴見消防署・鶴見防火協力会

自宅で具合が悪くなったとき、救急車が必要な「もしも」の時の安全と安心を守る取り組みです。救急搬送に必要な『かかりつけ病院』『持病』などの情報を記入したカードをカプセルに入れ、冷蔵庫に保管することによって救急隊に必要な情報を伝え、万一の救急時に備えます。119番通報時、本人等が病状などを説明できない場合、救急カプセルに保管された情報をもとに『かかりつけ医療機関』や『搬送先医療機関』と連絡・連携し、迅速な救急活動に役立てるものです。

NPO 法人 緑・ふれあいの家 ホームページ

<http://midorihureainoie.jimdo.com/>

フェイスブック・ブログもあります。ホームページからご覧ください。

本紙へのご意見・お問い合わせは、NPO 法人 緑・ふれあいの家へ

直接お電話いただくか、HP のお問い合わせフォームからお願いいたします。